

2026年度1Q決算実績

2026年7月30日
日鉄ソリューションズ株式会社

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

皆さんこんにちは。日鉄ソリューションズの佐藤でございます。

経営企画・財務・人事・IR等のコーポレート部門を担当しております。
よろしくお願い申し上げます。

本日はお忙しい中、当社決算説明会にご出席いただき、
誠にありがとうございます。

まず、このたびの熊本の地震により被災された皆様、
ならびにそのご家族の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

皆様の安全と被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。

ここからは、本日15:30 に発表いたしました
2026年度第1四半期決算についてご説明いたします。

2026年度1Q実績

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

2

まず第Ⅰ四半期の実績についてご説明します。

1. 2026年度1Q実績

	FY2025 1Q実績	FY2026 1Q実績	対前年 単位:億円	
			差異	増減率
売上収益	827	937	+110	+13%
売上総利益	210	248	+38	+18%
<売上総利益率>	<25.4%>	<26.5%>	<+1.1%>	
販売費及び 一般管理費等	125	156	+30	+24%
営業利益	85	92	+7	+9%
<営業利益率>	<10.3%>	<9.9%>	<-0.4%>	
税引前利益	88	95	+7	+8%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	51	52	+1	+2%

堅調なIT需要下で増収増益スタート

- ・国内IT需要は引き続き好調 売上収益は**+13%増**
- ・高粗利のインフォコム取得(25/2Q～)影響を主体に、売上総利益率は **+1.1ポイントの改善**
- ・販管費等の増（+30億円）は **インフォコムの子会社化影響**（+29億円）が主な要因。**管理システム刷新費用**（1Q約6億円）は他のコスト削減でカバー
- ・営業利益は、**+9%増の92億円**

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

3

国内のIT需要は引き続き堅調に推移しております。

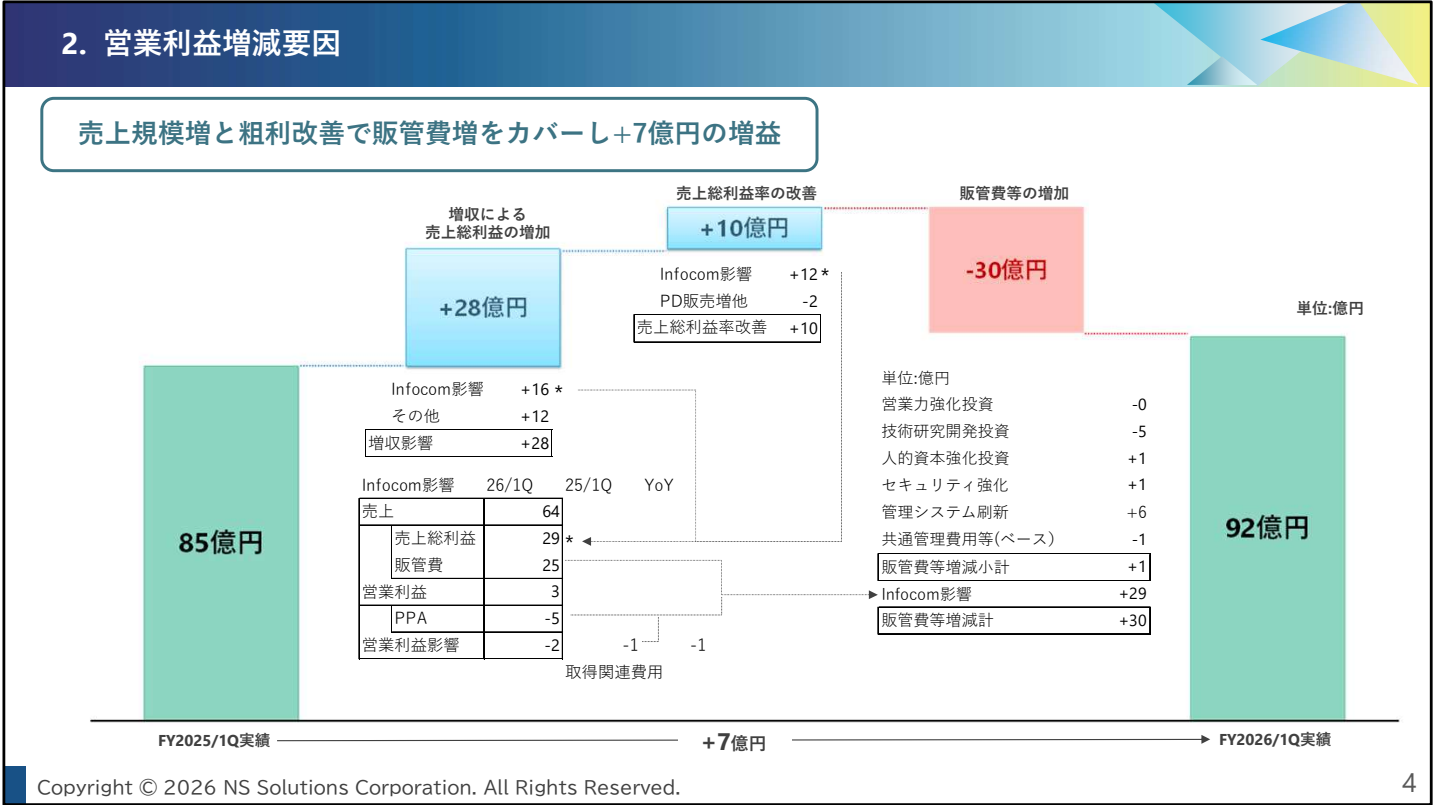
営業利益は対前年同期 7億円、+9%増ですが、増減の内訳は、既存ビジネスが 8億円、インフォコムの営業利益は、PPAを除いて 3億円、PPA等の増減が-4億円あり、連結ベースで-1億円となっています。

売上収益は対前年同期 110億円、+13%の増ですが、こちらは既存ビジネスが 46億円、インフォコム部分が 64億円です。

売上総利益率は、高粗利のインフォコムの影響を主体に、対前年同期+1.1ポイントの改善となる26.5%となりました。

販管費の増もインフォコムの子会社化が主な要因です。

また、後ほどご説明する受注も好調に推移しております。



営業利益の増減要因ですが、
増収による売上総利益の増加が28億円、
売上総利益率の改善は10億円です。
この中にインフォコムの影響が、規模で 16億円、率で 12億円
それぞれ含まれております。

販管費等の増加は、30億円です。

通期決算の時に申し上げた通り、
今期から管理システム刷新の費用が発生しておりますが、
第Ⅰ四半期では、PPAを含むインフォコムの影響が29億円あり、
これが増加の主な要因となっております。

3. サービス・顧客業種別売上収益/営業利益

各分野とも概ね好調なスタート

単位:億円	FY2025/1Q			FY2026/1Q			増減	
	売上収益	(営業利益率) 営業利益		売上収益	(営業利益率) 営業利益		売上収益	(営業利益率) 営業利益
ビジネスソリューション	635	(10.9%)	69	727	(10.3%)	75	+92	(-0.6%) +6
産業・鉄鋼	335	(12.1%)	40	415	(11.1%)	46	+80	(-1.0%) +6
流通・プラットフォーム	166	(9.2%)	15	174	(7.6%)	13	+8	(-1.7%) -2
金融	134	(10.1%)	13	137	(11.5%)	16	+3	(+1.4%) +2
コンサルティング& デジタルサービス	371	(6.1%)	23	376	(7.1%)	26	+4	(+1.0%) +4
官公庁・教育機関向け	43			50			+7	
ITインフラ・ソリューション等	328			326			-2	
その他・調整額	-180		-7	-166		-9	+14	-2
合計	827	(10.3%)	85	937	(9.9%)	92	+110	(-0.4%) +7
(参考) 日本製鉄向け	178			166			-13	

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

5

分野別の状況ですが、各分野とも概ね好調なスタートを切っております。

今期からグループ会社を含めた連結表示に改めるのと同時に、
分野別の営業利益についても開示しております。

詳細は次のスライドでご説明します。

4. ビジネスソリューション部門の状況

単位:億円	FY2025/1Q			FY2026/1Q			増減	
	売上収益	(営業利益率) 営業利益		売上収益	(営業利益率) 営業利益		売上収益	(営業利益率) 営業利益
ビジネスソリューション	635	(10.9%)	69	727	(10.3%)	75	+92	(-0.6%) +6
産業・鉄鋼	335	(12.1%)	40	415	(11.1%)	46	+80	(-1.0%) +6
流通・プラットフォーム	166	(9.2%)	15	174	(7.6%)	13	+8	(-1.7%) -2
金融	134	(10.1%)	13	137	(11.5%)	16	+3	(+1.4%) +2
売上収益			営業利益					
産業・鉄鋼			・ 産業はインフォコム影響に加えて、 電機・産機・自動車・自動車部品等で増収 ・ 鉄鋼は案件期ズレ影響等により減収			・ インフォコム影響を主体に増益 ・ 営業利益率はインフォコムPPA影響等もあり若干低下		
流通・PF			・ PF向け減はあったが、インフォコム影響を主体に増収			・ インフォコムPPA影響等により減益		
金融			・ ほぼ前年並み			・ グループ会社主体に増益		

まず、ビジネスソリューション部門の状況です。

「産業・鉄鋼」につきましては、
インフォコムの産業部門を取り込んだ影響で大きく増収になっております。
営業利益も同様の要因で増加しておりますが、
営業利益率はPPAの影響もあり、若干低下しております。

「流通・プラットフォーム」では、
売上収益はプラットフォーム向けは減少しましたが、
インフォコムの取り込み等もあり合計では増加しました。
一方で営業利益は、こちらもPPAの影響を主体に減益です。

「金融」につきましては、
売上収益はほぼ前年同期並みですが、
営業利益は、高収益のグループ会社が伸びたこともあり
増益となっております。

5. コンサルティング&デジタルサービス部門の状況

単位:億円	FY2025/1Q			FY2026/1Q			増減	
	売上収益	(営業利益率) 営業利益		売上収益	(営業利益率) 営業利益		売上収益	(営業利益率) 営業利益
コンサルティング & デジタルサービス	371	(6.1%) 23		376	(7.1%) 26		+4	(+1.0%) +4
売上収益			営業利益					
・ プロダクト販売増			・ 売上増及び販管費減により対前年増益					

(参考) インフォコム売上収益内訳

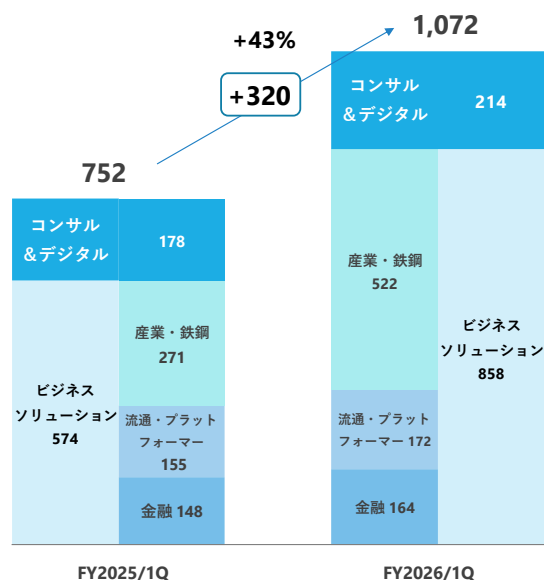
単位:億円	FY2026/1Q
インフォコム売上収益	64
産業・鉄鋼	47
流通・プラットフォーム	18

コンサルティング&デジタルサービス部門につきましては、
売上収益は、プロダクト販売を主体に増収
営業利益は、売上規模増と販管費の減等により増益となっております。

尚、スライドの下部にインフォコムグループの売上収益の部門別の
配分について記載しておりますのでご参照ください。

6. 受注高の状況

単位:億円



受注は好調、前年同期比+43%増



+93%

産業：Oracle ライセンス(PULA)の大型受注や
インフォコム影響(+38億円)を主体に
大幅増

+11%

鉄鋼：日本製鉄向け主体に増

流通/PF：インフォコム影響主体の増



+11%

金融：メガバンク向け主体の増



+20%

コンデジ：ITインフラ系が好調

(参考) 受注増+320億円中のインフォコム影響75億円

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

8

続いて、第Ⅰ四半期の受注高の状況です。

前年同期比+43%、320億円増の1,072億円と大きく増加しました。

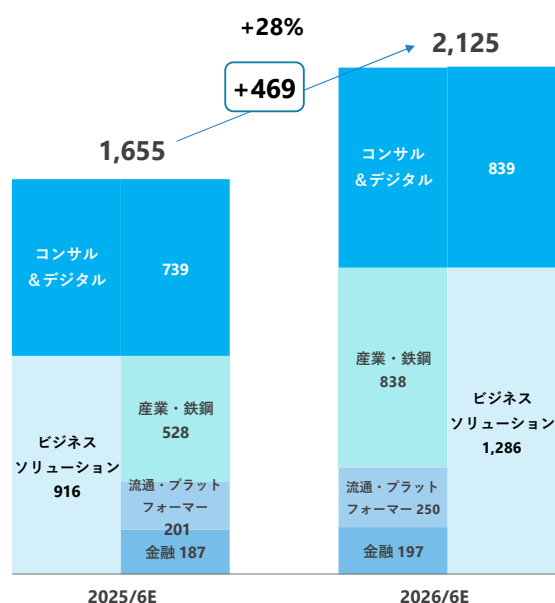
増加の主な内訳は、

- ・「産業分野」でのOracleライセンス（PULA）の大型受注が150億円超、
- ・インフォコムの受注が75億円
- ・これらを除いた既存ビジネスの増加が約92億円というものです。

各分野とも概ね順調に受注を獲得している状況であります。

7. 受注残高の状況

単位:億円

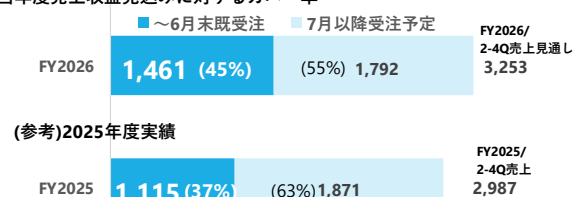


6月末受注残は+28%増
通期売上収益見込みに対する
6月末受注残カバー率は45%

6月末受注残内訳 (単位:億円)



当年度売上収益見込みに対するカバー率



Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

9

6月末の受注残高ですが、こちらも受注増に伴い、
前年6月末対比で+28%、469億円増と好調に推移しております。

受注残増加 469億円の内訳を申し上げますと、

- ・さきほどの大型受注分の残が約145億円、
- ・インフォコム受注残が約190億円、
- ・これらを除いた既存ビジネスの増加が約134億円となります。

今期の売上収益見通しに対する受注残高のカバー率は
45%と昨年の37%を上回っています。

ちなみにスライドには記載がありませんが、
上期売上収益見通しに対する受注残高カバー率は74%であり、
こちらも昨年の62%を大きく上回っております。

今後も受注を積み上げて見通しを達成してまいりたいと存じます。

2026年度業績見通し

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

10

次に2026年度の見通しであります。

8. 2026年度ガイダンス

売上収益

4,190 億円

YoY +10% +377億円

前回見通し比 +20億円

営業利益

485 億円

YoY +10% +43億円

前回見通し比 +10億円

当期利益

323 億円

YoY +5% +15億円

前回見通し比 + 7億円

- 新型ビジネスモデル（TAM型）への移行を推進、1QのTAM比は約40%、2026年度は50%程度を目指す。
- 1Q実績、受注動向等を踏まえ通期見通しを上方修正

当期配当見通し

配当は中間決算時に
見直し

		FY2025	(前回見通し) FY2026見通し	通期増減	対前回見通し増減
親会社の所有者に帰属する 当期利益（億円）		308	(316) 323	+15	+7
EPS（円/株）		168.5	(172.7) 176.5	+8.0	+3.8
	中間	40.0	(43.5) 43.5	+3.5	-
	期末	45.0	(43.5) 43.5	-1.5	-
通期配当（円/株）		85.0	(87.0) 87.0	+2.0	-
配当性向		50.4%	(50.4%) 49.3%		

今期のガイダンスを記載しております。

1Qの決算実績や受注の状況等を踏まえ、
売上収益で 20億円、営業利益で 10億円、当期利益で 7億円と
若干の上方修正をしております。

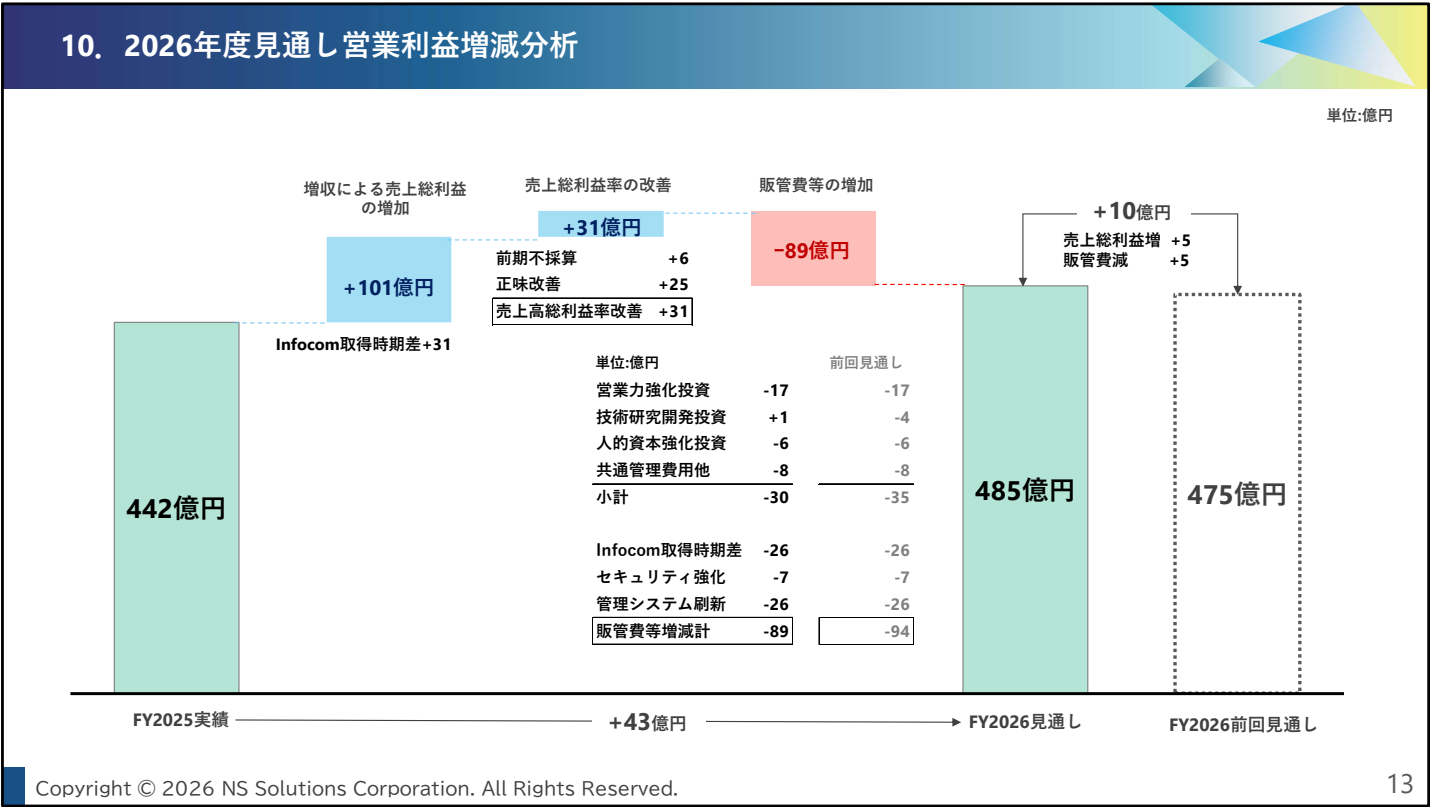
尚、配当につきましては、従来通り配当性向50%を目安として
中間決算時に改めて見直して参ります。

9. 2026年度半期別業績見通し

営業利益は+10億円の上方修正

単位：億円	FY2025			FY2026見通し			対前年（斜字は増減率）			対前回見通し		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	1,784	2,030	3,813	2,000	2,190	4,190	12%	8%	10%	+20	-	+20
売上総利益	461	557	1,018	545	605	1,150	18%	9%	13%	+5	-	+5
<売上総利益率>	<25.9%>	<27.4%>	<26.7%>	<27.3%>	<27.6%>	<27.4%>	<+1.4%>	<+0.2%>	<+0.8%>			
販売費及び一般管理費等	279	297	576	330	335	665	18%	13%	16%	-5	-	-5
営業利益	183	260	442	215	270	485	18%	4%	10%	+10	-	+10
<営業利益率>	<10.2%>	<12.8%>	<11.6%>	<10.8%>	<12.3%>	<11.6%>	<+0.5%>	<-0.5%>	<-0.0%>			
税引前利益	188	264	453	219	274	493	16%	4%	9%	+10	-	+10
親会社の所有者に帰属する当期利益	120	188	308	133	190	323	11%	1%	5%	+7	-	+7

こちらは段階損益を半期別にまとめた表ですのでご参照ください。



こちらは、営業利益見通しの増減要因を簡単に記載しております。

増収による売上総利益の改善が 101億円、
売上総利益率の改善が 31億円、
販管費等の増加が 89億円で
併せて、営業利益の増加が 43億円という分析です。

前回見通しに対しては、売上総利益で 5億円、販管費等の減で 5億円
合わせて 10億円の上方修正をいたしました。

冒頭にも申しましたが、国内のIT需要は総じて堅調に推移しており、
当社の業績も順調なスタートを切れたと考えております。

2027年度営業利益目標600億円に向けて、
まずは今期の見通し485億円を確実に達成してまいりたいと存じます。

尚、生成AIの活用状況等につきましては、参考資料をつけておりますので
ご参照ください。
私からのご説明は以上です。

Appendix

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

14

11. 四半期別連結業績

単位：億円

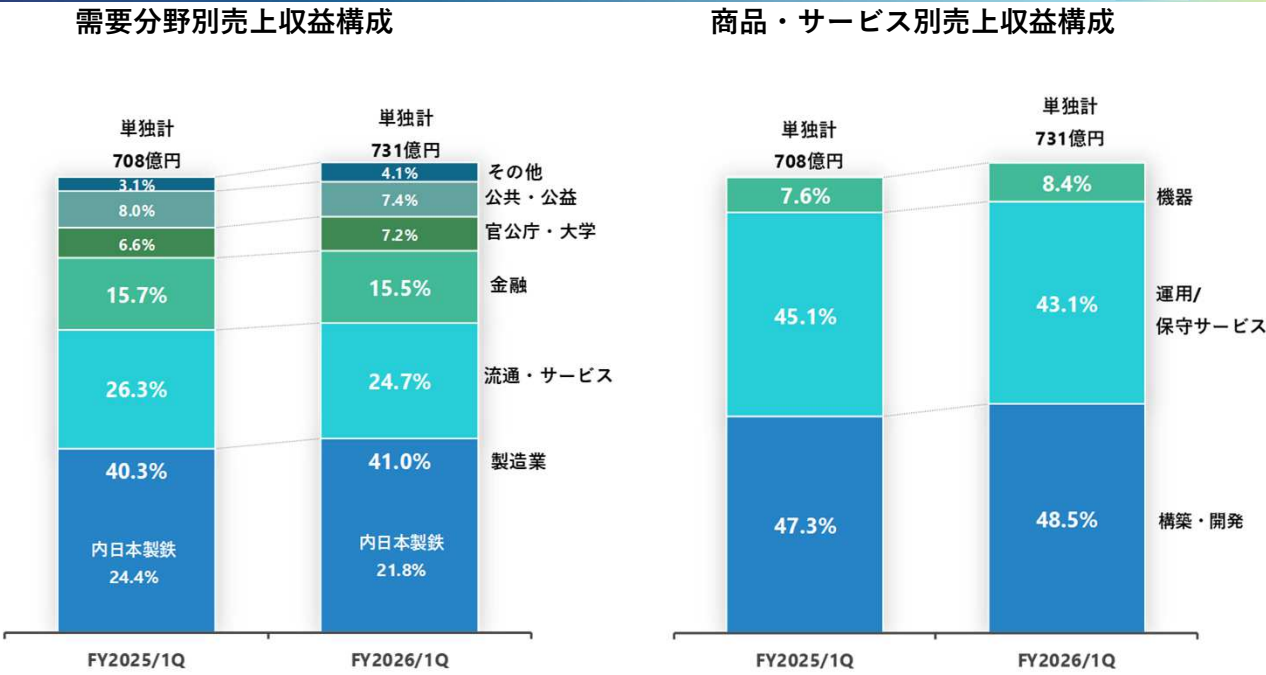
	FY2024				FY2025				FY2026
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	768	798	837	980	827	957	970	1,059	937
売上総利益	187	196	210	224	210	251	270	287	248
<売上総利益率>	<24.4%>	<24.6%>	<25.0%>	<22.8%>	<25.4%>	<26.3%>	<27.8%>	<27.1%>	<26.5%>
販売費及び一般管理費等	99	103	95	135	124	154	142	155	156
営業利益	88	93	115	89	85	98	127	133	92
<営業利益率>	<11.5%>	<11.7%>	<13.7%>	<9.1%>	<10.3%>	<10.2%>	<13.1%>	<12.5%>	<9.9%>
税引前利益	90	91	121	88	88	100	130	135	95
親会社の所有者に 帰属する当期利益	54	68	82	66	51	69	91	97	52

12. 四半期別サービス・顧客業種別売上収益

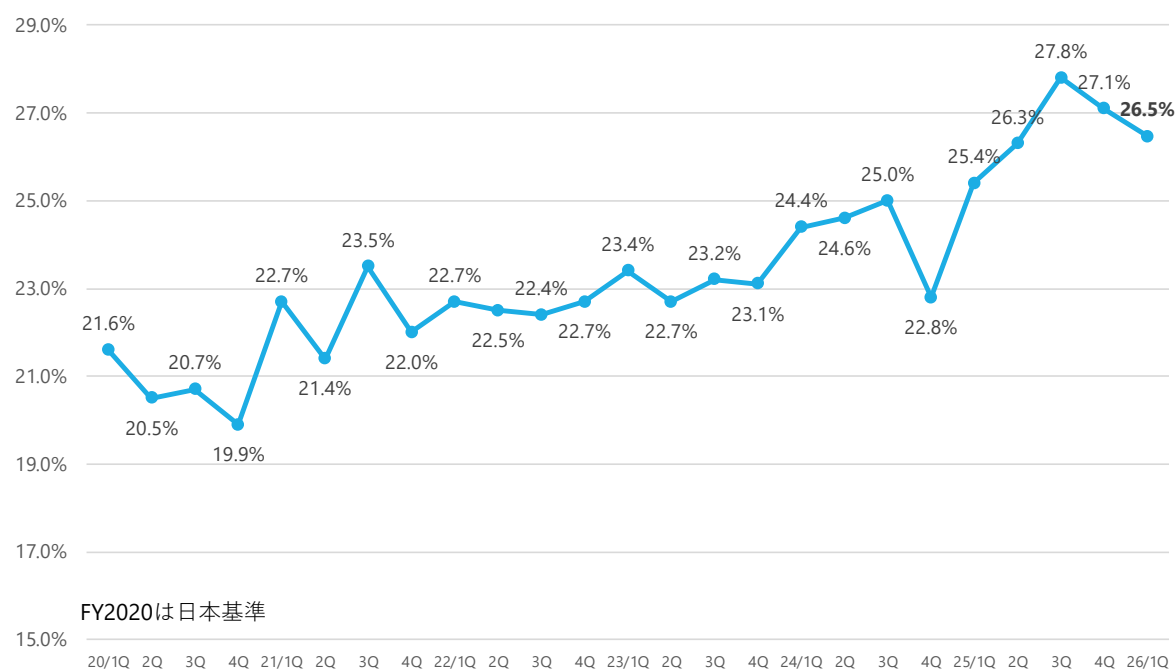
単位：億円

	FY2025/1Q			FY2025/2Q			FY2025/3Q			FY2025/4Q			FY2026/1Q		
	売上収益	(営業利益率) 営業利益		売上収益	(営業利益率) 営業利益		売上収益	(営業利益率) 営業利益		売上収益	(営業利益率) 営業利益		売上収益	(営業利益率) 営業利益	
ビジネスソリューション	635	(10.9%)	69	753	(11.7%)	88	746	(13.0%)	97	811	(12.4%)	101	727	(10.3%)	75
産業・鉄鋼	335	(12.1%)	40	414	(12.7%)	53	402	(14.1%)	57	450	(12.2%)	55	415	(11.1%)	46
流通・プラットフォーム	166	(9.2%)	15	194	(9.8%)	19	208	(12.4%)	26	208	(14.6%)	30	174	(7.6%)	13
金融	134	(10.1%)	13	144	(11.2%)	16	136	(10.8%)	15	153	(10.5%)	16	137	(11.5%)	16
コンサルティング& デジタルサービス	371	(6.1%)	23	324	(2.9%)	9	356	(9.0%)	32	383	(10.2%)	39	376	(7.1%)	26
その他・調整額	-180		-7	-120		1	-132		-2	-134		-8	-166		-9
合計	827	(10.3%)	85	957	(10.2%)	98	970	(13.1%)	127	1,059	(12.5%)	133	937	(9.9%)	92

13. 売上収益の構成



14. 売上高総利益率の推移



Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

18

15. 四半期別主要一過性要因・大型案件等

単位：億円

	FY2025				FY2026
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	827	957	970	1,059	937
大型案件		⑤新規連結 70	⑤新規連結 68	⑤新規連結 88	⑤新規連結 64
営業利益	85	98	127	133	92
一過性		取得費用 -7			
受注	752	1,112	1,085	1,124	1,072
大型案件		⑤新規連結 248	© G 268 ⑤新規連結 38	⑤新規連結118	⑧ O 152 ⑤新規連結 75

⑧: ビジネスソリューション、©:コンサルティング&デジタルサービス,⑤:子会社、O:Oracle, G:官公庁向け

16.NSSOLの生成AI関連実績

社内実績

月123,900時間の効率化

6,468名調査・774人月相当

- ・2025年度社内アンケート結果
- ・NSSOLAS（社内向け生成AIプラットフォーム）を全社展開
- ・生成AI活用コンテスト 2025年73件

SI案件実績

生成AI活用率50%超

要件定義36%・製造45%
の生産性向上事例

- ・AI駆動開発を推進
- ・NSDeviaで設計・テスト文書作成支援

最近のプレスリリース

日本航空とNSSOL、空港業務の
安全管理を生成AIで高度化

- ・JALの空港安全管理システム「FALCON」を構築支援
- ・約10年分・約22万件のヒヤリハットデータを生成AIで分析
- ・リスク要因特定から対策案提示までを支援
- ・NSSOLの「NS Craft AI Factory」を活用した実案件事例

AIエージェント×金融取引分科会
へ参画

- ・MUFG主導のコンソーシアムへ参画
- ・AIエージェント による金融商品売買の将来像を検討
- ・権限委譲・ガバナンス・VC活用などを共同研究

自社実践 × SI実装力 × 顧客業務変革を一体で支援できることがNSSOLの強み

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

17. 主要ニュース・プレスリリース

2026年7月22日	行政機関向け「NSDDDDクラウド for Government 情報公開事務支援ソリューション」の提供を開始～AIを活用し、情報公開事務や個人情報開示請求の対応を効率化～
2026年7月21日	全国地方銀行協会、会員銀行向け信用リスク情報統合サービス「CRITS」のIT基盤刷新にOCIと運用サービス「emerald」を採用 ～コスト最適化・運用高度化・拡張性向上により持続的なIT基盤を実現～
2026年7月14日	筑波大学 第3食堂の愛称が「NSSOL DINING」に決定
2026年7月14日	Oracle Japan Award 2026にて最高位の「Best Partner of the Year」を受賞～クラウドビジネスの成長と技術力等が評価され、OCI部門賞との同時受賞～
2026年7月9日	デジタルアセット次世代執行基盤の共同検証を開始～金融商品のトークン化に伴う取引最適化に向けた基本合意書を締結～
2026年7月9日	日鉄ソリューションズと電通総研、企業と社会を支える次世代ITインフラ領域で協業へ ～「absonne4」の活用を起点に、生成AI時代に求められる環境とソリューションを共同開発
2026年7月2日	暗号資産インデックス「NADA」、テスト算出開始と利用企業募集を開始～国内有数のデジタル資産メディア「NADA NEWS」、日本円建てのBTC、ETHインデックスを発表～
2026年7月1日	「NS DevCompass」にAI駆動開発を導入～デジタルサービス創出を加速～
2026年6月30日	「DiD/VC共創コンソーシアム AIエージェント×金融取引分科会」の発足について～AIエージェントが金融商品取引を代行する時代を見据えたルール・実装の検討に参画～
2026年6月30日	国内暗号資産ETFの実現へ、暗号資産インデックス協議会の報告書を公表
2026年6月29日	「バランスシート・マネジメント・コンソーシアム」設立1周年記念イベントを開催
2026年6月25日	高度AWS人材を22名に拡充、AWS利活用の支援体制を一層強化 ～「2026 Japan AWS Ambassadors」等の各種認定に加え、「2026 Japan AWS Jr. Champions」にも新たに選出～
2026年6月25日	業界特化型ECプラットフォーム「NS Eclipa」の提供を開始～商慣習に対応した柔軟なEC基盤で、サプライチェーン全体のデジタル化と需要可視化を実現～
2026年6月24日	「ATLED Award 2025」にて企業賞2部門と個人賞1部門を受賞～AgileWorks導入の支援実績が評価～
2026年6月24日	日本航空と日鉄ソリューションズ、空港業務の安全管理を生成AIで～「NS Craft AI Factory」で定性データの利活用を推進～
2026年6月17日	仮想デスクトップソリューションM3DaaSのラインアップを拡充～Ommissa Horizon on Nutanixを活用したエンタープライズ向けVDI環境を提供開始～
2026年6月16日	Box Gold Partnerを5年連続で受賞～Boxに関する卓越した技術力、提案実績を評価～
2026年6月10日	6つの大学と連携し、「夏のリコチャレ2026」イベントを開催～数値計算プログラミングを通じて、社会課題とITのつながりを体験～
2026年5月29日	株式会社B-Prostのグループ会社化について～損害保険会社向け基幹システム事業を一層強化～
2026年5月29日	アジア最大級のLGBTQ+イベント「Tokyo Pride 2026」に協賛
2026年5月25日	ソニー生命向けに投資運用管理プラットフォームSimCorp Oneの導入を支援～投資運用管理業務の高度化・効率化を実現～
2026年5月13日	TeciemとAPAC地域における市場系ソリューションの販売強化に向けた戦略的パートナーシップを締結～OHACOをグローバル金融機関向けに展開～
2026年5月12日	統合ナレッジ基盤「データシンクロナシティプラットフォーム」とデジタルツインソリューション「Geminant」を連携したデータ活用環境の展開を本格化 ～製造現場に散在するデータや暗黙知を統合し、ナレッジ基盤を構築して業務判断の迅速化を支援～
2026年5月7日	松本市と「上高地の管理運営体制構築の研究に関する連携協定」を締結～テクノロジーを活用し自然保護と持続可能な観光利用の両立を目指す～
2026年4月28日	アステリアと「ASTERIA Warp サブスクリプションパートナー」契約を締結 ～CONTRACT CROSSとASTERIA Warpの連携により、契約データを活用した業務効率化とデータ利活用の高度化を推進～



ビジネス変革を起点に、サステナブルな未来へ

 NS Solutions

CoREPEAK



NS Solutions

 NIPPON STEEL

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、開示の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。
本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
本資料中には当社および他社製品の登録商標されたサービス名・商品名等を含みます。

Copyright © 2026 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

22